支部だより

みかん狩・シラスお買い物バスツアー
バスはお土産でいっぱい

津久野支部

11月17日に毎年恒例のバスツアー「みかん狩・しらすお買い物ツアー」に行ってきました。ハイエース4台を連ねて34人、各車両とも満席状態でした。

この日は天気にも恵まれ、秋晴れのもと、和歌山県海南市にある「奥野みかん園」でみかん狩りを楽しみました。昼食は今回事前に下見を行い、そこで見つけたオープン1年目の素敵なお店でおいしい秋を堪能。最後はこれも海南市にある「カネマタ水産」に寄り、パック詰めされたしらすや、しらすの佃煮等のお買い物。毎年「ここのしらすは新鮮で美味しい」と好評で、両手いっぱいに購入される方もいました。

帰りのバスはみかんやしらすのお土産でいっぱい。また各バスの中では世話人さんたちが署名や協同基金などの訴えもしました。

（事務局　安部）

今年のみかんは甘いかな

おたのしみの昼食

しらすを求めて行列

冬休みこども映画会
「クレヨンしんちゃん」を上映

南花田支部

こども企画2回目として冬休みの12月25日に、ひまわり薬局3階の「友の会ルーム」で映画会を開催しました。参加は年長さんから小学5年生までの子ども5人と保護者1人、世話人は7人で参加人数より多かったです。

上映作品は、悩みましたが「クレヨンしんちゃん」の映画にしました。クレヨンしんちゃんの映画はテレビと違って笑いと感動、ちょっと考えさせられるような内容もあって良かったです。世話人さんもクスッと笑ってしまう場面もありました。最後に、ファミリークリニックから子どもたちへ、バルーンアートのプレゼントもありました。

子ども企画第1回の夏休み工作教室ともちつき大会にも来てくれた保護者の方から、「良い企画ですね」と言っていただけたのがうれしかったです。

今後も親子で楽しめるような取り組みを企画していきたいと思います。

（事務局）

お母さんも一緒に楽しみました

健康友の会みみはら
旅行サークル第30回バスツアー

宇治平等院鳳凰堂を背景に記念写真

平和と秋の京都を大満喫

12月1日、2日で健康友の会みみはら旅行サークル主催の第30回バスツアーが催行され、38人が参加しました。今回の旅行は、平和を学び近場でゆっくり過ごすことをテーマに、古都京都の名所を巡りました。

最初は、宇治市にある「平等院」を訪れ、平安時代の多くの文化財を見学。中でも雲中供養菩薩像は見事で、繊細に彫り上げられていました。「源氏物語ミュージアム」では、千年の時空を超えて広がる王朝絵巻の華やかな世界を堪能。

ホテルには4時半に到着、早速、旅の疲れを温泉で癒し、夕食宴会は美味しい会席料理をいただき、いつものように大盛り上がり、二次会も会話が弾みました。

翌日は、「立命館大学国際平和ミュージアム」を見学。平和の尊さを学び、憲法9条を守る大切さを再認識。「金閣寺」では、栄華を極めた北山文化を象徴する美しく輝く姿に驚嘆の声をあげ、「東福寺」では、通天橋から眺める渓谷を埋め尽くす真っ赤な木々の紅葉が、心に残ります。

道中では、恒例のビンゴゲームで楽しみ、家族へのお土産もいっぱい買って、署名も、アンケートもたくさん集まり、無事堺に帰ってきました。

（健康友の会みみはら
旅行サークル
事務局長　井上　善雄）

みんなの力で

岸和田市
室井　宏文（56歳）

人間の命と尊厳が大切にされる社会の実現にむけて、みんなの力で運動を広げていきましょう！

多彩でうれしい

中区土師町
高木　美春（61歳）

病院の紹介やいろんな方の体験談が読めてとてもうれしいです。

長尾　加代

26支部の活動が

富田林市
馬場　義伸（67歳）

友の会26支部の紹介記事、それぞれの活動内容が分かり良かったです。休眠の支部が無いのが素晴らしいです。それぞれたまり場をお持ちで、日々集って元気を分かち合っておられることでしょう。

楽しみです

中区東八田
寺尾　香代子（71歳）

クロスワードパズルとお便りを見るのが楽しみです。

はたして効果は？

南区城山台
片山　直規（64歳）

血糖値を上げないようにするには、食事の際「まずトマトジュースを飲むといい」とか「キクイモをいろんな料理に入れるといい」とか知り合いが教えてくれました。1カ月ぐらい試していますが、効果はまだわかりません。

「とも」の財産

大阪狭山市
長尾　加代（71歳）

お便り欄に掲載していただく、私の葉書絵を見ていますよ、と年賀状に添え書きされていました。多くの方との交流が「とも」の財産ですね。

私もいつか

南区茶山台
久松　正昭（71歳）

お便りの間に挿入されている「絵手紙」皆さん本当に上手に描かれてますね。私もいつか挑戦してみたいと思ってますが。

成人式

北区東浅香山町
葉山　ひとみ（49歳）

今年、娘が成人式を迎えました。当日は朝早くからの着付けや送り迎え等で大変でしたが、親としての役割の節目のようにも感じ、安堵感でホッとしました。